

和光



発行 〒894-0007 鹿児島県奄美市名瀬和光町1700番地

国立療養所 奄美和光園

電話(0997)52-6311 FAX(0997)53-6230

令和4年5月1日
(2022)

第125号

■表紙	1
■患者さんの権利	2
■新旧園長挨拶	3~4
■退職者・異動者挨拶	5~8
■新人紹介	8~10
■春のおとずれ	11

■介護福祉士実務者研修を経て国家試験合格!	12
■学術活動	13
■奄美和光園の歴史	14~15
■交流会(歴史資料館)	16
■空手教室	17
■NST News Letter	18
■診療統計	19
■人事異動・和光園日誌・編集後記	20

基本理念

私たちは、入所者一人ひとりの生命の尊厳と人権を守り、豊かな自然環境につつまれた穏やかで心豊かな療養生活と、安全で安心できる医療を提供します。



藤の花

基本方針

1. 入所者の終の棲家として心穏やかな暮らしを支えることを基本とします
2. 入所者自治会とよく話し合い 入所者本位の運営に努めます
3. 入所者一人ひとりの日々の変化にきめ細かく対応いたします
4. ハンセン病による後遺症や合併症の対策をしっかりと行います
5. 入所者が高齢化していることを念頭に置き 健康保持の活動や生活を支える医療さらには感染予防・認知症対策に重点を置きます
6. 地域医療とも連携し 適切で標準的な医療の提供に努めます
7. ハンセン病に対する正しい知識を普及させるため 啓発活動に努めます
8. 開かれた療養所となることを目的に地域社会との交流促進に努めます
9. 入所者の健康と安全な生活に貢献できるようすべての職員の質の向上に努めます

患者さんの権利

★人格を尊重した医療を受ける権利

誰でも、どんな病気でも、安全で良質な医療を平等に受ける権利と、個人の人格や価値観が尊重され、医療提供者との相互協力関係のもとで医療を受ける権利があります。

★医療に関する十分な説明を受ける権利

検査、治療等について、あるいは他の治療方法について、納得されるまで十分な説明を受ける権利があります。

★個人情報保護の権利

診療の過程で得られた個人情報やプライバシーが守られ、個人の尊厳が保たれる権利があります。

★診療情報の提供を受ける権利

ご自身の診療録の開示を請求する権利があります。

★検査や治療等の自己決定権の権利

検査、治療法などの選択、あるいは拒否をする権利があります。
また、セカンドオピニオンを受ける権利があります。

患者の皆様へ

- ご自分の健康に関する事を詳しく正確にお話し下さい。
- あらゆる危険を回避するために職員との連携にご協力下さい。
- よりよい医療・療養・生活環境を維持するために入院の規則をお守り下さい。



国立療養所 奄美和光園

H22.5.22 作成

新旧園長挨拶

退任に当たって



この度3月末日を以て園長職の任期を終えることとなりました。入所者の皆様、職員の皆様には長い間お世話になりました。お陰で11年間にも及ぶ任期を全うすることができました。最後の2年余りはコロナ感染拡大の余波を受けて入所者の皆様には外出もままならず、大変窮屈な思いを強いる結果となったことを残念に思っています。また、見通しのつかない不安な状況でしたが、曲がりなりにも切り抜けることができたのは職員の皆様の忍耐強い自制と協働のお陰だと感謝しています。

奄美大島は、子供の頃に過ごした日々が強烈的な印象として残っていて、大人になって奄美に戻り、和光園で仕事できたことはとても幸せな時間を持つことができたと思っています。ここで入所者の方々と共に時間を過ごしたことは、医師としてはもとより人間としてもいろんな事を学んだと感じています。特に、高齢化していく中で人と人との関係性を大事にすることが、いかに人生に大きな意味を持つかを教えられた気がしています。

園長に就任した当初から目指したことは、地域との付き合いでした。地域の中で、入所者と一緒になって住民の方達と身の丈に合った付き合いをしていこうということでした。最後はコロナで尻切れトンボとなってしまい、どこまでできた

か分からなくなっていました。それでも在任中、特に強い思い出となっているのは、奄美和光園の70周年式典・祝賀会を開催したことでした。式典の記念講演として企画した大矢先生による田中一村の講演には多くの市民に和光園に足を運んでいただき、また市内のホテルで開催した祝賀会には入所者の皆さんに加え、全療協や星塚敬愛園自治会の役員の方々、地元奄美市議会の議員の方々にも参加していただきました。その他、園内で開催される夏祭りには多くの市民が和光園を訪れ、入所者の皆さんの笑顔とその笑顔を引き出そうとする職員の熱演に心が躍りました。地域の方々にも入所者の様子や入所者に関わる職員の働きぶりも紹介できました。地域の方々に農作業を通じて入所者と自然に触れあえる、“ふれあい和光塾”。良い伝統を和光園に残していただいたと感謝していました。始めはどうなるかと思っていた園長職ですが、鹿児島県・奄美大島の地元自治体の皆様、地元医師会の先生方からの支援があり、とても心強く勤め上げることができたと思っています。

4月からは馬場先生にバトンタッチしますが、私も特命副園長として引き続き入所者のお世話に当たりたいと考えています。これまでのご協力に対し、全ての皆様に改めて感謝申し上げます。

国立療養所奄美和光園
第16代園長 加納 達雄

就任に当たって



この度、4月1日付で前・加納園長（現・特命副園長）の後任として第17代奄美和光園長を拝命いたしました。

和光園が設立されて79年、幾多の困難を乗り越えて大勢の方々によって築かれたこの和

光園の園長となったことを誇りに思います。一方、和光園の将来のことなどを考えますと、施設長としての職責の重さを痛感し、戸惑いも隠せませんが、和光園の基本理念である「穏やかで心豊かな療養生活と安全で安心できる医療の提供」を肝に銘じ、園の運営に尽力する所存ですので、皆様方のご理解とご協力をお願いいたします。なお、エンジェルナンバーで「17」という数字は「楽観的に考えることの大切さを教えてくれる数字」「『あなたの思考は正しい方向を向いているので、このまま明るい気持ちを持ち続けて』というメッセージの数字」と言われますので、楽観的に物事を考えることにいたします。

「石の上にも三年」と言われるように、仕事については数年単位で考えるべきなのでしょうが、入所者の高齢化に伴う健康障害や生活機能の低下は止めようのない問題で、時間的な猶予はありません。入所者にとっては1日1日が非常に大切な時間であることを念頭に置き、まず1年目はエンジン全開で取り組みたいと思います。そうすることで1年目を基礎に、おのずと2年目、3年目を切り拓くことができると信じます。

園の運営を行うに当たっては自治会と協調して進めていくべきなのですが、当園の自治会は休会中のためリアルタイムに相談することが難しい状況にあります。過去に行われた自治会役員の方々と園との意見交換会の議事録などを参考に、また外部の有識者も出席する倫理委員会の審議を踏まえて、入所者にとって最善の運営を検討いたします。入所者の方々には、ご理解とご協力をお願いしたく存じます。

さらに和光園を終の棲家として生活することを決めた入所者の方々にとって、医療の確保は切実な課題です。しかし医療の細

分化・専門性が著しい現在において、仮に医師の定員数が充足したとしても全ての分野を提供するのは不可能な状況であり、地域の医療体制に依存する必要があります。具体的には園内の医療・診療援助・委託診療等を組み合わせることで、入所者の方々に安心して生活していただくとともに、地域の医療機関と連携することは「地域社会の一員である」ことを感じながら生活していただくことにも繋がると考えています。

職員の皆様も、「ライフケアサポート」と概念を掲げるまでもなく、職員として働く目的は「入所者の日々の暮らしを支えること」であると自覚し、看護・介護や高齢者福祉を充実させるよう更に努力していただきたいと思います。組織運営のために職場単位で細分化された部分はありますが、お互いに自分の仕事に責任を持ち、職員1人ひとりが入所者のために何ができるのかを考え、協働することが入所者の日々の暮らしを支え、その延長線上には「将来構想である園内の地域開放・交流」があることにも目を向けていただきたいと思います。現在はコロナ禍のため自粛せざるを得ませんが、無事に終息を迎えたのちには、種々の行事を通して地域の皆様との啓発交流を盛んに行いたいと考えています。

繰り返しになりますが、和光園の基本理念や看護理念に基づいて入所者1人ひとりの生活を支え、園内や地域における社会生活を維持することで入所者1人ひとりの満足感が高まり、そのポジティブフィードバックが職員1人ひとりの意欲を引き出し、心を1つにして働ける環境作りに繋がっていくことを願います。歴代の園長と比較して、圧倒的に若輩者の私が園長に着任するからこそ、職員1人ひとりの力が不可欠ですのでご協力をよろしくお願いいたします。

また、和光園に関心をお持ちの皆様方におかれましては、ご心配をおかけすることもあるかと思われそうですが、今後とも格別のご理解とご支援をよろしくお願い申し上げます。

国立療養所奄美和光園

第17代園長 馬場 まゆみ

退職者・異動者挨拶

お世話になりました

平成30年4月から4年間、入所者の皆様、職員の皆様には大変お世話になりました。感謝の気持ちで一杯です。無事、定年を迎えたのも皆様のお陰だと思っております。

皆様方と交流させていただいた思い出、深く心に刻まれる出来事がたくさんできました。4月のみなさまと黒糖焼酎を酌み交わし、カラオケで歌いあった歓迎会、6月と一緒に競技に参加したミニ運動会、そして一大イベントである園の夏祭り、奄美市の花火大会、舟漕ぎ競争、敬老会、今は終了しましたが、Tプレイングマネージャーの叱咤激励をうけながら、迷プレーを連発したゲートボール大会、楽譜は読めない中で、コーラスの指揮をしたクリスマス会、花見の宴、亡くなられた入所者の方々に哀悼の誠をさせていただいた慰霊祭等々。

しかしながら、ここ2年間は、コロナ禍のため、慰霊祭を除き、そのような場を設けることができない状況になってしまいました。これも入所者の方々を守るため、コロナのなせる業と申しても、この状況で、定年を迎えざるを得なかったことは、大変心苦しく、心残りとなっております。

話は変わりますが、赴任当初、懸案となっておりました、歴史的建造物関係の旧納骨堂の補修整備、園の歴史資料館である交流会館の整備工事と開館、歴史的建造物関係の説明板の設置は完了し、最後に同じく歴史的建造物に関する霊安棟・旧火葬場風景整備も、4月末には、終わりそうです。

台風という自然の猛威と離島という条件が相まって、なかなか業者が見つからない中でしたが、ようやく完了までこぎつけることが出来そうです。

さて、話はまた変わりますが、この業界（国立医療機関等）に入りまして38年を迎えようとしておりますが、その間ハンセン病療養所に敬愛園、愛楽園、当園とで17年近く（勤務年数の44.7%）お世話になっております。また、鹿児島県に勤務するのは、これも17年程（勤務年数の44.7%）と、ハンセン病療養所であり鹿児島県にある、当園には、なにかご縁を感じております。

勤務地について話を少し追加すると、鹿児島県、宮崎県、沖縄県の九州南部が殆どで、それ以外は、福岡県で一度勤務経験が（5年近く）あるだけです。また生まれは宮崎県で、南九州に縁がある人間です。

しかし、退職後は、5年程しか経験のない福岡の地で第二の人生を送ることとしております。人生いろいろという歌の文句もありましたが、ほんといろいろで不思議なものです。

最後になりますが、皆様には、お体ご自愛ください。特に入所者の皆様におかれましては、穏やかに、お元気でお過ごしください。祈っております。

本当にお世話になりました。ありがとうございました。

事務長 横山 嘉雄

お世話になりました

あっという間の3年間、パワー全開で走り抜けた3年間でした。たくさんの方々に支えていただき、無事にこの日を迎えることができました。お世話になったみなさん、有難うございました。

コロナ禍で制限がある中、入所者のみなさんが笑顔で元気に過ごしていただくためにはどうしたらいいか、みんなで知恵を絞り活動しました。その結果、とびっきりの笑顔に出会い幸せな時間を過ごすことができました。これからも『チーム和光園』と

して優しさの種をまき、素敵な笑顔の花をたくさん咲かせてほしいと思います。

新しいことに挑戦する時には、今握っている手を離さないとつかむことができません。楽しい思い出がいっぱいの奄美和光園を去るのはとても寂しいですが、握ったこの手を離し新しい何かを見つけないと思いません。みなさん、お元気で♥

総看護師長 鮫島 明子

奄美で初めて経験したこと

縁あって2年足らず、和光園で仕事をすることができました。就職時の自己紹介で予告した通り、いろいろとご迷惑をおかけすることになり、すみませんでした。

和光園に来てびっくりしたのは、会う人会う人、どこかで会ったような懐かしい方が多いこと。しばらく不思議な感覚が抜けませんでした。

奄美で初めて経験したことは、天の川を見たこと。あちこちで緑の小さなカエルが跳びまわっており、踏まないか、気を使って歩いたこと。希少種のトカゲが玄関前にいたこと。ヤモリの赤ちゃんが頭に埃を載せて出てきたこと。しかも死んでしまったこと。掃除をさぼったばかりにトカゲの赤ちゃんを殺してしまって落ち込みました。

爬虫類は大嫌いだったのに、ヤモリは可愛くなったこと。蚊が少なく、防虫剤が不要だったこと。日照時間が日本一少なく、日焼け止めがいらなかったこと、等々。

大阪で新型コロナを経験してから奄美に来ましたが、この3月時点でも終息の兆しは見えず、この2年近く、色んな行事ができなくて入所者の方はお気の毒でした。それでも、入所者の方々、スタッフの方々との交流は楽しいものでした。様々なことを教えていただきました。ありがとうございます。

また遊びに来ます、と言えるように、コロナ君、そろそろ退場してね。

内科医長 矢野 隆子

定年退職にあたって

この度3月31日付けで定年退職をいたします。

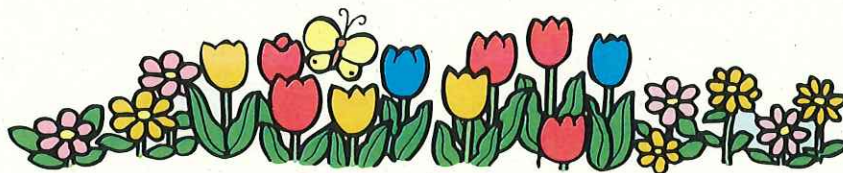
平成2年12月1日の入職以来、大変お世話になりました。長年の和光園勤務の中で、数々の人との出会い、別れを経て、あっという間に時が流れしまいました。

こうして、無事定年退職を迎えられたのは、入所者の温かい励ましや職員スタッフ、先輩方に支えられてきたお陰だと心から感謝いたします。共に流した涙、共に分かち合い、喜びあった日々…感慨深いものを感じ

じます。和光園で仕事をさせて頂き、微力ではありましたが、皆様のお力に少しでもなれた事を信じ、私の誇り、財産と決めこれからの人生に繋げていきたいと思っております。本当にありがとうございました。

最後に入所者の皆さんお元気でいて下さい。長きにわたり、支えて頂いたすべての皆さんに感謝、感謝。そして、和光園の更なる発展を心よりお祈りいたします。

病棟 介護長 徳 和代



お世話になりました

平成31年4月の異動で和光園に来て、早いものでもう3年が過ぎようとしています。

この3年間で、元号は平成から令和に変わり、令和元年末に始まったコロナ禍は未だに終わる気配がありません。

コロナ禍で行事を開催することが難しくなっている現在ですが、1年目に園の4大行事に参加することが出来たのは、今にして思えば幸運なことだったのかもしれない

と思います。夏祭りの舟漕ぎ競争に出て、海に落ちるのではないかと冷や冷やしながら舟を漕いで、なんとかゴール出来たことが3年間の一番の思い出となりました。

早くコロナ禍が終息して、また行事が再開できる日が来ることを願っています。3年間大変お世話になりました。どうもありがとうございました。

事務長補佐 立川 秀一

お世話になりました

15年ぶりに帰ってきた2度目の和光園勤務でしたが、あっという間の3年間でした。

在籍中は、入所者のみなさま、職員の方々、大変よくしていただき感謝申し上げます。奄美に帰ったら、あれもしたい、これもしたいと、思いっきり奄美を満喫する計画でしたが、コロナ禍で、やりたかったことの半分も達成できておらず、まだまだ和光園

に残りたい気持ちでいっぱいです。

4月から東京勤務となりますが、もう一度帰って来られるよう新任地でも頑張りたいと思います。皆様もお体を大切にお過ごしください。本当にお世話になりありがとうございました。

臨床検査技師長 畠 伸策

お世話になりました

令和2年4月から初めての鹿児島県勤務でした。次は初めての沖縄県勤務になります。これで九州全県制覇です。

和光園では、施設整備等工事関係の業務が多かったように思います。交流会館の完成、交流会館前駐車場整備工事、法面防護柵整備工事、講堂改修整備工事、霊安棟及び火葬場修景整備工事、ふれあいホール改修整備工事、病棟空調設備更新整備工事等の施設整備計画の工事と、修繕工事では、ボイラー缶体入替工事、給食棟屋上防水工

事、RC受水槽内部改修工事などに係る業務に携わってきました。園内の皆様のご協力のおかげで、無事に業務をこなしてこられたと思います。皆さんありがとうございました。

病棟空調設備更新整備工事については、始まったばかりですが完成までよろしくお願いします。2年間、大変お世話になりました。

会計班長 藤川 浩治

大変お世話になりました

「お帰りなさい。」と迎えられ、4年が過ぎました。「日々の食事に楽しみを！」との思いで、ご意向に沿ったお食事の提供に努めました。また、加納園長（現特命副園長）のご厚意を賜り、一週間もの実施修練に行かせていただいたこともありました。

この度、故郷福岡に戻りますが、異動先は経験したことのない規模の病院です。不安に押しつぶされそうになった時、支えと

なるのは和光園と前任地敬愛園で得た、入所者の皆さまからの「信頼」です。通算12年もの間、大切にいただき感謝しかありません。皆さまの穏やかで心豊かな日常が末永く続きますよう祈念し、結びの挨拶とさせていただきます。

栄養係長 青堀 尚子

大変お世話になりました

平成16年、ふるさとに戻り、奄美和光園で看護師生活を再スタート。気が付けば18年。不自由者棟（9年）、病棟（5年半）、治療棟（3年半）とすべての部署で勤務させて頂きました。

初めて、和光園に足を踏み入れた時は、穏やかな雰囲気にも包まれた中で、入所者へ家族のように寄り添い看護・介護する職員の姿に感銘を受けました。奄美で生まれ育ちながら、ハンセン病療養所奄美和光園の歴史・看護については殆ど知らなかった私は、入所者、職員、先輩方との語らいの中で、ここで働く看護師としての意義を学び、

人としても成長させていただいた事にとっても深く感謝しています。毎日を入所者・職員と共に四季を感じながら笑い、涙し、支えられ、同じ時間を過ごさせていただいた事は、とても貴重な財産です。

ふるさとである、奄美・和光園を離れますが、ここでの出会いを糧に、また、必ず皆様に会える日を楽しみに、新しい場所でも誠心誠意努めてまいります。本当に本当にありがとうございました。😊

治療棟 副看護師長 本田 千鶴子

お世話になりました

和光園で過ごした4年間、入所者の皆様・職員の皆様に支えていただき感謝の気持ちでいっぱいです。

リハビリや様々な行事などを通し、楽しく穏やかな時間を過ごすことが出来ました。また、入所者の皆様には、和光園の歴史、生活の知恵など本当にたくさんのことを学ばせていただき、私にとってとても貴重な

日々でした。

最後になりますが、和光園の皆様からご教授いただいたこと、経験を今後に活かし、これからも頑張っていきたいと思っております。4年間大変お世話になりました。ありがとうございました。

作業療法士 中里 あゆみ

新人紹介

事務長 瀬之口 眞澄（せのくち ますみ）

4月1日付で福岡東医療センターから事務長として赴任しました瀬之口眞澄と申します。出身は福岡県北九州市です。

今回の転勤で通算14施設目となりますが、ハンセン病療養所での勤務は初めてとなります。また、奄美も初めてなのですが、自然豊かで海が本当にきれいな事に驚きました。まだまだ勉強不足ではございますが、一日も早く園の運営のお力となれるよう精進してまいります。ご指導の程、どうぞよろしくお願い申し上げます。



**総看護師長 中 嶋 洋子 (なかしま ようこ)**

鹿児島医療センターから昇任で参りました。もともと鹿児島の出身ですが奄美大島に足を踏み入れたのは初めてです。

フェリーでこちらに降り立ちましたが、長く続く滑走路や澄んだ海など、雄大な自然に癒され、これからの生活がとても楽しみになりました。また赴任当初から心優しい入所者の皆さまに温かいお言葉を頂き、とても励まされています。

まだまだ慣れない日々を過ごし、ご迷惑をおかけしておりますが、「その人らしさを大切に」の看護理念のもと、入所者の皆さまが安心して生活できる環境と、日々の生活の変化に対応できる質の高いケアの提供を目指したいと考えています。どうぞよろしくお願いいたします。

福祉室長 高 橋 貴博 (たかはし たかひろ)

4月1日付で福祉室長として赴任してまいりました高橋と申します。

前任の沖縄愛楽園に3年間、その前の沖縄病院に2年間勤務し、通算5年間の沖縄生活のせいか、奄美大島の気候が少々肌寒く感じる今日この頃です。

気候と同様、奄美和光園の皆様や福祉室の業務に少しでも早く馴染んで、奄美和光園の運営に微力ながら寄与できればと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

**会計班長 岩 橋 竜一 (いわはし りゅういち)**

会計班長で赴任してきた岩橋です。奄美和光園とはほんの少しだけの縁がありました。今を去ること30年前、国家公務員試験合格後、どこかの省庁から声がかかるのを待っていた私に1枚の葉書が来ました。「奄美和光園に来ませんか」という勧誘でした。他にも国立病院から誘いがあったのでそちらに行きましたが、やはり縁があったのでしょう、こうして赴任することになりました。

30年にわたる公務員生活の終着点がここになりそうです。これまでの集大成を、と意気込みたいところですがどうなりますか。単なる窓際でしかないかもしれませんが、頑張りますのでよろしくお願いいたします。



臨床検査技師長 安藤 陽一郎 (あんどう よういちろう)

はじめまして、4月1日付けで福岡病院より赴任しました臨床検査技師長の安藤と申します。大分県の豊後高田市という自然豊かなところで育ちました。

奄美大島は公私ともはじめてです。昨年、ユネスコの世界自然遺産に登録されたとのことですが、生えている木の種類は違いますが、山の奥深さなど豊後高田市に似ているように感じます。

技師長職は初めてで、前任者の畠技師長からの申し送り書を見ながら、試行錯誤しつつ業務に携わっております。未熟者で皆様にご迷惑をおかけすると思いますが、入所者の方々の為に何ができるのか考えながら頑張りますので、なにとぞご指導のほど、よろしくお願いいたします。

**医事係長 佐藤 剛 (さとう つよし)**

4月1日付けで沖縄愛楽園から赴任してきました佐藤と申します。

奄美和光園は2回目の勤務となります。趣味であるバイクで美しい山や海を眺めながら走れることを楽しみにしております。

早く仕事に慣れお役に立てるよう頑張りたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

栄養係長 秋山 優太 (あきやま ゆうた)

4月1日付で長崎医療センターから栄養係長として参りました、秋山優太と申します。出身地は福岡県北九州市です。奄美についてはテレビや情報誌で見る程度のことしか知らなかったのですが、実際に来島して自然の豊かさや天候の変動などに驚かされる日々が続いています。

まだまだ分からないことばかりで多方面にご迷惑をおかけすることも多いと思いますが、入所者の皆様に喜んで頂ける食事の提供を心がけて頑張ります。どうぞよろしくお願いいたします。

**作業療法士 下大迫 将喬 (しもおおさこ まさたか)**

今回、初めての転勤で沖縄病院から奄美和光園に赴任してきました。熊本県出身で沖縄や離島などの自然や海が好きです。沖縄ではヤンバルクイナや木登りトカゲなどのその地にしかない特別天然記念物や人がいない景色などを見つけに行ったりしていました。奄美大島でもアマミノクロウサギを探したいと思っています。趣味は、バドミントンと筋力トレーニングです。

今回、初めて奄美大島での勤務で不安はありますが、奄美の自然に触れながら一日一日を大事にしてリハビリ業務に携われるように頑張りたいと思います。ご迷惑をおかけすることもあると思いますがよろしくお願いいたします。

春のおとずれ



モクレン(白) 鶴寮



モクレン(赤) 5寮



イッペー 3寮-2



つつじ 朝日寮2



インパチェンス 3寮-1



万両 3寮-3



アガパンサス 若竹寮

春の陽気がぽかぽかと心地よい季節となりました。和光園の一般舎の庭には、入所者のみなさんが丹念に育てた「つつじ」「万両」「アガパンサス」「イッペー」「モクレン」の赤や白の花が咲き誇り、畑には春が旬の野菜「葉ニンニク」が育ちました。花々の美しさや春の匂いは見る人々の心を和ませてくれます。収穫した葉ニンニクを三枚肉やミミンガ（豚の耳）と一緒に塩コショウと醤油で料理してみました。みなさんも素敵な花々や旬の野菜を観賞し、一緒に「春のおとずれ」を感じてみてはいかがでしょうか。

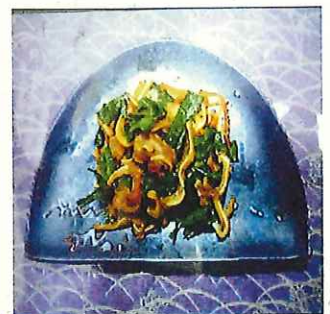
治療棟 介護員 下川 満



葉ニンニク



3枚肉



ミミンガ

介護福祉士実務者研修を経て国家試験合格！

令和4年1月30日に第34回介護福祉士の国家試験が実施されました。超高齢化社会が進む中、全国的に介護者不足が問題視され、全国で83,082名が受験に望みました。和光園からは私を含む介護員3名が受験することになり、まずは教材19科目9冊の大量テキストで自己学習を進め、2週間毎に送られる150問のテスト問題を毎回70点以上クリアしていくという苦しい日々、5カ月間奮闘しました。テスト問題突破後は、指定病院にて9日間の実務者研修を受け、利用者へより質の高い介護サービスを提供するために、実践的な医療ケアの知識と技術を習得しました。医療ケアは利用者の命に直接関わるため、専門的な知識、基本的な動作手順、注意を要する観察項目がとても多いことに驚かされました。そこで今まで以上にケアへの責任を実感し、緊張しながらも正確さや人命を尊重する態度

で実務試験に臨み、3名とも合格することができました。

研修終了後は、最終関門である介護福祉士国家資格の筆記試験を1月末に受け、3月25日の合格発表までは落ち着かない日々でしたが、私達3名が切磋琢磨したことが大きな力となり、合格率72.3%の中、3名とも無事合格できました！今後は介護福祉士としての自覚を持ち、より一層入所者一人ひとりに寄り添った質の高い介護を提供できるよう、日々スキルアップを目指していきたいと思っています。今回研修や受験にご支援いただいた園のみなさまに心より感謝申し上げます。今やっとプレッシャーから解放されてホッと、うれしい春眠の心地よさを味わっています。

不自由者棟 介護員 奥田 美穂



学術活動

4月23日・24日の2日間にわたって第38回日本臨床皮膚科医会総会・臨床学術大会が開催されました。コロナ禍もすでに3年目となり、すっかり定着したハイブリッド型（現地開催＋WEB配信）ですが、今回は鹿児島での開催ということで、ポスター発表&現地参加してきました。

春休み以降、鹿児島県内のCOVID-19陽性者数が一向に減らないばかりか、人口10万人当たりの新規陽性者数は全国平均を大きく上回っており、出張の是非を悩み、出発5日前までフライトやホテルの予約を取れずにおりました。感染リスクを最小限に抑え、翌日からの勤務に影響が無いようにするために、学会会場でマスクを外す機会を極力減らすため水分補給すら控え、鹿児島グルメ堪能も自粛して持参したカ●リーメ●トをホテルの部屋で食し、「学会の新しい現地参加様式」を実践しました。

また両日ともに生憎の雨となり、往路は



第38回 The 38th Annual Meeting of Japan Organization of Clinical Dermatologists

日本臨床皮膚科医会 総会・臨床学術大会

こんな時代だから 楽しい皮膚科

会期 2022年4月23日・24日
会場 かごしま県民交流センター
会頭 島田 辰彦 (島田皮膚科)
副会頭 西 正行 (ひふ科形成外科クリニック)
事務局長 米倉 健太郎 (今村総合病院皮膚科)
実行委員長 楠原 正洋 (楠原皮膚科医院)
会計 吉井 典子 (吉井皮膚科)
プログラム委員 金蔵 拓郎 (鹿児島大学)

38th

フライトが遅れ、復路は予定していたフライトが条件付き運航となってしまったため急遽1つ早い便に変更するなど、スケジュール調整を余儀なくされ、予定していた講演のいくつかは聴講できず、2年4か月振り・1泊2日の弾丸出張は慌ただしく終わりました。

肝心の発表は…雨の中でしたがポスターは死守！濡らさずに持ち込むことができ、発表も無事に終わりましたよ(*~*)

この4月から園長を拝命し、管理者としては園を極力離れない方がよいのですが、臨床医を続ける限り自己研鑽は必須ですし、新しい医療機器は実物を見たり試用しないと購入に踏み切ることができませんので、私的な学会参加にもご理解のほどよろしく願いいたします。

園長 馬場 まゆみ

一 奄美和光園の歴史 一

(9) 歴史的建造物「旧霊安解剖棟」及び「旧火葬場」修景整備工事竣工

令和3(2021)年12月、旧霊安解剖棟及び旧火葬場の修景整備工事が始まった。

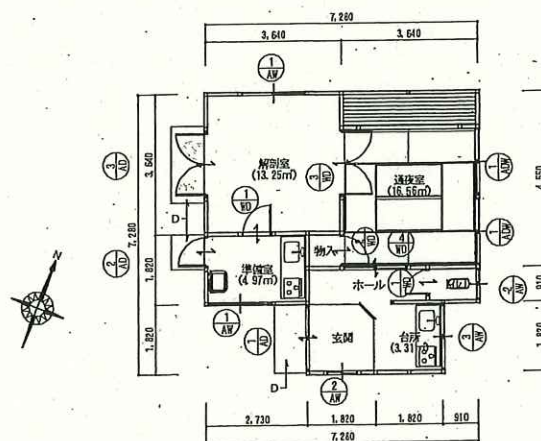
工事開始に先立ち、11月30日(火)午前10時から、入所者、職員、工事関係者が参集し、工事前のお祓いを行った後、旧霊安解剖棟と旧火葬場の修景工事が始まった。



旧霊安解剖棟は、昭和46(1971)年に完成し、平成3(1991)年7月までの20年間使用されている^{1・2}。



旧 霊 安 解 剖 棟

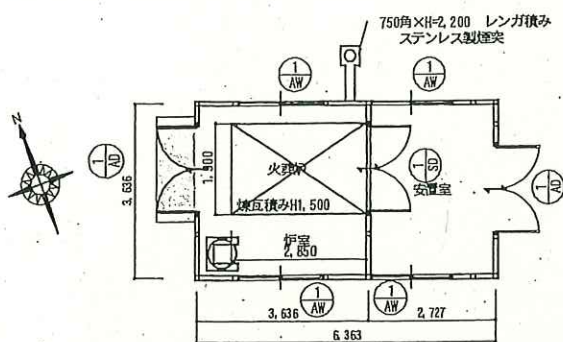


旧 霊 安 解 剖 棟 平 面 図 3

旧火葬場は、昭和31(1956)年1月に建てられ、平成3(1991)年11月7日の昼間に火が発生したのを機に使用されなくなった。その後の火葬は、奄美市斎場を使用するようになり、平成12(2000)年に旧名瀬市(現奄美市)へ廃止届が提出されている^{4・5・6・7・8・9}。



旧 火 葬 場



旧火葬場平面図 10

各ハンセン病療養所に存在する歴史的建造物は、「ハンセン病問題基本法(ハンセン病問題の解決の促進に関する法律 平成20年法律第82号)」により、国において必要な措置を講ずることとされている。当園は、和光園入所自治会と協議の結果、平成25(2013)年11月25日に「歴史的建造物にかかる合意書」を作成し、平成26(2014)年1月23日に開催された歴史的建造物の保存等検討会において和光園入所者自治会から合意内容が提出された。提出された合意書では、

- 1 旧納骨堂
- 2 旧火葬場
- 3 旧霊安解剖棟
- 4 双葉分校
- 5 少女舎
- 6 少年舎
- 7 保育所
- 8 高倉
- 9 東屋(展望台)
- 10 浄水場跡

が列举されている。

全国の療養所から提出された案を元に、国において順次予算化され、令和4(2022)年4月末に竣工となっている。

入所者一般舎「若竹寮」横から川沿いに上っていく旧霊安解剖棟、旧火葬場、そして旧納骨堂へと続く道は一連のストーリーになっている。また、ダチュラの群生地となっていたり、野鳥のさえずりが聞こえたり、立派なヒカゲヘゴが生えていたり、園内とは思えないような奄美の自然が満ち溢れている場所でもある。工事竣工後は、

和光園の歴史を振り返るとともに、奄美の自然を体感できる場所になると考えられる。



ヒカゲヘゴ(日本最大のシダ植物)



ダチュラ(エンジェルトラネット)

福祉係(学芸員) 岩辻 好夫

- 1 奄美和光園歴史的建造物にかかる説明 平成25年11月
- 2 “資料調査報告書(実物資料)国立療養所 奄美和光園 2015(平成27)年11月 国立ハンセン病資料館” 写真ama1301、2分冊ノ2 P31「ハンセン病問題を考える会かごしま」作成資料
- 3 平成29年度国立療養所奄美和光園 老人会館等改修整備その他工事 厚生労働省大臣官房会計課施設整備室 (株)作山建築設計事務所 平成30年度10月 図面番号40
- 4 和光園誌「和光 第7号」平成3年11月20日、P4
- 5 和光園誌「和光 第40号」平成12年5月1日、P7
- 6 皇太子殿下 皇太子妃殿下 行啓記念誌、昭和44年3月30日発行、P34
- 7 創立40周年記念誌 国立療養所奄美和光園 昭和58年4月5日、P33
- 8 光仰ぐ日あるべし 南島のハンセン病療養所の五〇年、1993年8月10日発行、P132
- 9 創立70周年記念誌 国立療養所奄美和光園 平成25年(2013)、平成27年3月発行、P11
- 10 平成29年度国立療養所奄美和光園 老人会館等改修整備その他工事 厚生労働省大臣官房会計課施設整備室 (株)作山建築設計事務所 平成30年度10月 図面番号40

国立療養所奄美和光園 交流会館(歴史資料館)



ホームページからの 情報発信を進めて います。

当館は、奄美和光園の歴史紹介、ハンセン病に対する正しい知識の普及及び啓発等を行うため、令和2年8月3日に開館しましたが、新型コロナウイルス（COVID-19）感染拡大防止のため休館しております。

現在、和光園ホームページからの情報発信を進めており、下記のQRコードから、和光園交流会館のコーナーへアクセスできます。ご視聴いただければ幸いです。

記

交流会館
コーナー



展示品編1



YouTube 約6分

展示品編2



YouTube 約5分

展示品編3



YouTube 約6分

和光園の歴史
(S10年～S28年)



YouTube 約7分



〒894-0007

鹿児島県奄美市名瀬和光町 1700 番地

国立療養所奄美和光園交流会館
(歴史資料館)

園代表電話 0997-52-6311

令和4年5月1日

奄美和光園 空手教室

空手教室は、平成24年の赴任時に奄美和光園の講堂を借りて行ったのが始まりでした。当時はキックミットなどの道具もなく講堂で突き、蹴りの基本や移動稽古、型を中心に行っていました。その頃は現園長の馬場先生をはじめ看護師、コメディカル、事務職員など5～7名程度で稽古をしていました。現在でも当時の練習生が数人来ています。その頃は毎週のように入所者の方も見に来られ、稽古をしている職員を応援していました。ここでの空手教室をきっかけに次の赴任先である宮崎病院、大牟田病院と異動した先々で空手教室を開いてきました。そこでミットなどの練習道具が少しずつ増えてきて今では、ビッグミット1個、キックミット4セット、ハンドミット2個と充実してきております。

奄美和光園では、基本稽古以外にミットを使って突きや蹴りの練習もしており体の使い方、バランス感覚の向上を図っております。またミットを思い切り蹴る

ことによりストレス発散にもなります。それとダイエットにも効果があるかもしれませんよ。(笑)

現在練習生は、検査科、看護課、リハビリ、給食など多職種から10名ほどが在籍しています。看護師さんの勤務が不定期なので毎回5人ほどで稽古しています。

練習内容は、私が習っていたフルコンタクト空手と沖縄古武術を基本に指導しています。時々、護身術も指導していますよ。ちなみにわたくし沖縄剛柔流古武術の黒帯で二段を持っています。

空手と聞くとハードできついイメージがあると思いますが、ここでは手足を動かす全身運動と思ってください。職員で興味のある方は、毎週火曜日、木曜日の18時～19時まで講堂で練習をしていますのでまずは、私の方へお声かけください。動きやすい服装でしたらどんな格好でもいいですよ。ちなみに会費は無料です。

薬剤科長 佐多 卓也



NSTでの看護師の役割 ～入所者みなさんの栄養状態・摂取状況の継続的な把握～

NST(栄養サポートチーム)とは、多職種の医療スタッフがチームを組み、入所者みなさんに最もふさわしい方法で栄養状態を良好に保つために活動するチームを意味します。栄養状態が不良になるとリハビリが進まず、日常生活の改善はおろか、褥瘡や傷などを合併することにも繋がるため、このような問題を解決するためにあらゆる方面から栄養支援を行っています。今回は、NSTでの看護師の役割について、紹介します。

看護師は、24時間通して入所者の側にいる職種であり、食事や身体状況の変化などにすぐ気づくことができます。治

療方針は医師が決定するため、看護師は医師が治療方針の選択に必要な情報を提供し、決定した栄養療法を入所者に接しながら実行することが大きな役割です。また、各部署の担当ナースは、NSTチームのメンバーに情報を提供し、多職種で連携しながら入所者みなさんの栄養状態改善をサポートしています。

これからも入所者一人ひとりに合った最良の栄養支援方法を検討し、食生活や身体の状態に満足していただける栄養支援に努めたいと考えています。

病棟 看護師 藤原 睦

看護師の主な活動

栄養アセスメント

- ・ 体重変化
- ・ 食事摂取量
- ・ 消化器症状
- ・ 身体状況

栄養障害のある入所者の抽出

- ・ 年4回(栄養管理計画書)

医師への進言

- ・ 入所者の全身状態

多職種との連携

- ・ 情報提供

栄養管理手技の是正

- ・ 経静脈栄養、経管栄養

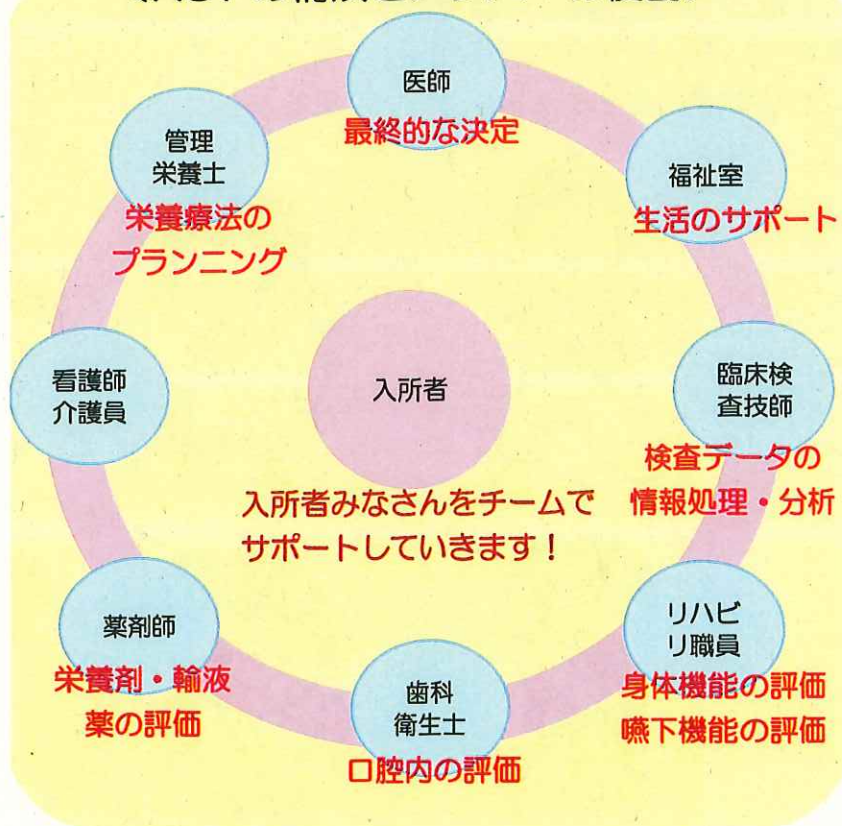
食事の援助

- ・ 食事介助
- ・ 誤嚥予防などの対応

知識の教育・啓発

など

<NSTの構成とメンバーの役割>



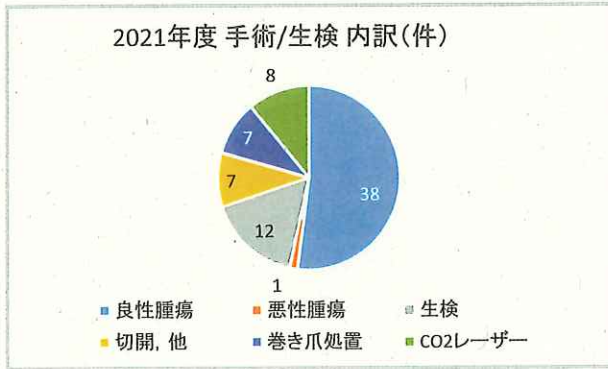
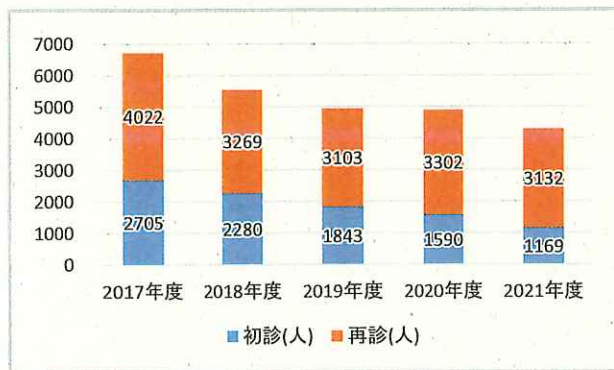
令和3年度 診療統計

	外来診療					再掲		入院診療	BIO(生物学的製剤治療)	
	初診(人)	再診(人)	合計(人)	1日平均(人)	診療実日数(日)	紫外線療法(件)	手術/生検(件)	延患者数(人)	導入	維持療法
4月	103	277	380	29.2	13	64	11	0		
5月	85	245	330	30.0	11	52	3	0		
6月	131	277	408	31.4	13	67	7	0		
7月	108	259	367	30.6	12	64	7	0		
8月	135	263	398	30.6	13	54	5	5		
9月	83	263	346	31.5	11	49	3	0		
10月	110	267	377	31.4	12	58	9	0		
11月	112	302	414	31.8	13	69	6	0		
12月	94	294	388	32.3	12	67	7	0	1	
1月	72	225	297	27.0	11	52	4	0	1	
2月	60	243	303	25.3	12	58	7	0		
3月	76	217	293	24.4	12	63	4	0	1	1
合計	1169	3132	4301	29.6	145	717	73	5	3	1

生物学的製剤治療 3名

入院加療を必要とする重症患者なし。

感染対策として予約数を調整しているため、昨年度より患者数が減少している。



学会発表

第120回日本皮膚科学会総会 (6月10日～13日・横浜市 ハイブリッド開催)

ハンセン病療養所入所者における皮膚癌の傾向

第187回日本皮膚科学会鹿児島地方会・総会 (4月18日・鹿児島市 WEB開催)

生物学的製剤使用承認施設 初年度の報告

足底に発症した血管平滑筋腫の1例

第188回日本皮膚科学会鹿児島地方会

Mosaic localized neurofibromatosis type 1の1例

論文発表

西日本皮膚科 第83巻5号

増殖性タール・ピッチ皮膚症の1例

日本フットケア・足病医学会誌 第2巻3号

ハンセン病による足病変の特徴および本邦におけるハンセン病問題

人事異動

(令和4年2月1日～令和4年4月30日)

R 4. 2. 28	青堀 実	自動車運転手(非常勤)	退職
R 4. 3. 31	加納 達雄	園 長	勤務延長満了
	矢野 隆子	内科医長	勤務延長満了
	横山 嘉雄	事務長	定年退職
	鮫島 明子	総看護師長	定年退職
	作下 志信	介護長	定年退職
	徳 和代	介護長	定年退職
	重 香代子	看護助手	定年退職
	栄 勝	自動車運転手	再任用短時間勤務任期満了
	柴 美津子	看護助手	再任用短時間勤務任期満了
	窪田 理栄	歯科衛生士	再任用短時間勤務任期満了
	生田 郁夫	看護師	再任用短時間勤務任期満了
	黒木 貴雄	看護助手	期間業務職員任期満了
	中山 照美	看護助手	期間業務職員任期満了
	安田 ひとみ	看護助手	期間業務職員任期満了
	有村 志津子	調理助手	非常勤職員任期満了
	立川 秀一	事務長補佐	宮崎東病院へ
	藤川 浩治	会計班長	沖縄愛楽園へ
	池田 新一郎	医事係長	星塚敬愛園へ
	島 伸策	臨床検査技師長	厚生労働省へ
	青堀 尚子	栄養係長	九州医療センターへ
	中里 あゆみ	作業療法士	都城医療センターへ
	本田 千鶴子	副看護師長	星塚敬愛園へ
R 4. 4. 1	加納 達雄	特命副園長	採用
	瀬之口 眞澄	事務長	福岡東医療センターより
	中嶋 洋子	総看護師長	鹿児島医療センターより
	高橋 貴博	福祉室長	沖縄愛楽園より
	岩橋 竜一	会計班長	沖縄愛楽園より
	佐藤 剛	医事係長	沖縄愛楽園より
	安藤 陽一郎	臨床検査技師長	福岡病院より
	秋山 優太	栄養係長	長崎医療センターより
	下大迫 将喬	作業療法士	沖縄病院より
	黒木 貴雄	看護助手	採用
	中山 照美	看護助手	採用
	安田 ひとみ	看護助手	採用
	作下 志信	看護助手	採用 (雇用継続職員)
	重 香代子	看護助手	採用 (雇用継続職員)
	栄 勝	自動車運転手	採用 (非常勤職員)

和光園日誌

(令和4年2月1日～令和4年4月30日)

R 4. 2. 3	消防訓練(夜間想定)
3. 22	離任式
3. 31	辞令交付式
4. 1	辞令交付式
4. 7	新採用者オリエンテーション
4. 14	着任式

編集後記

ポカポカと日差しが心地よい季節となり、春には旅立ちの別れや出会いがあります。涙あり、笑顔あり、やる気ありなど様々な思いが巡ります。

今回はそれぞれの春を記載させていただきました。

皆さんの心が少しでも楽しくなれるよう私も和光編集委員として頑張っていきたいと思っています。

皆さんの楽しいお話や見て欲しいものなどがありましたらいつでも和光編集委員へ声をかけてください。お待ちしております。

編集委員 朝野 寿枝